

2 資料収集保存事業

(1) 戦争体験聞き取り調査

滋賀県平和祈念館では、戦争当時滋賀県にお住まいだった方、あるいは滋賀県にご縁のあった方を対象に、調査員 2 名を配置して戦争当時の話の聞き取り調査を行っている。体験者の方の高齢化が進む中、戦闘体験などの第一線での体験談を聞き取る機会が少なくなり、銃後と言われた国内での体験が多くなりつつある。

平成 30 年度の聞き取りに関する調査件数は 43 件、その内 32 名の方から直接的な体験談の聞き取りを行った。また、資料寄贈に付随した体験等の調査は 11 件である。この他、寄贈等資料に関するものは 67 件であった。体験談の内容では、軍隊での体験が約半数を占め、次いで国民学校児童や中等学校生徒としての体験が約 3 割見られた。他には、夫や父を戦争で亡くした遺族としての体験等が見られた。

～平成 30 年度戦争体験聞き取り調査事例～

乙種飛行兵として転戦し、戦後シベリア強制抑留となる

内林 義幸さん (90 才) =湖南省市=

内林義幸さんは、国民学校高等科 2 年の時に舞鶴海兵団の入団試験に合格します。それには、国民学校の先生の強い勧めがあったのでした。海軍に志願したのは、子どもの頃、夏の暑い日に陸軍の兵が旧東海道を行軍していて、大変苦しそうであったのを見ていたので、軍艦とか飛行機に乗ってる方がいいなと思っていたからだそうです。

入隊は舞鶴ではなく、鹿児島県の串良海軍航空隊へ入り、乙種航空兵となります。串良での教育を終えた内林さんは、大分県の宇佐航空隊へ移動しますが、さらに台湾に駐留していた 901 部隊に転属になり、台湾へ向かうこととなります。しかし、台湾の基隆に着くと、901 部隊が駐留していた東港は、米軍の定期的な爆撃を受けており、滑走路も使えず、飛行機も無いといった状態であり、901 部隊は空襲や潜水艦の攻撃を避けて夜間航行で上海へ向かいます。上海航空隊で、やっと一式陸上攻撃機に補助的に乗ることとなります。実戦ではなく、整備した機体のテスト飛行のようなことが多くなります。

しかし、そのうち上海航空隊への空襲もひどくなり、飛行場は滑走路が穴だらけになり、応急修理をしてもすぐに空襲で使えないという状態になります。そして、航空隊は朝鮮半島の元山に退却することになります。元山には一式陸上攻撃機が 4 機ほどあったそうですが、空襲も無く、機体の整備をしているうちに、終戦になったそうです。飛行機でみんなで日本に帰ろうかという話もあったそうですが、連合軍に撃ち落とされるだろうという事になり、そのうち何とかなるだろうと思っていると、間もなくソ連軍が進駐してきて、武装解除となりました。そして、興南から日本に帰れると思って喜んで船に乗りますが、それは、その後約 2 年間にわたるシベリア強制抑留の始まりだったのでした。

(2) 収蔵資料の整理・保存

滋賀県平和祈念館では、県民の戦争体験にまつわる資料や戦争当時の滋賀県に関連する資料 35,000 点以上を収集し、その整理、保管を行っている。平成 30 年度は、新たに 2,234 点の資料を収集した。

遺品等の品物について、戦争体験者からその子や孫世代の方々からのご寄贈が増えてきた。寄贈資料の状態を保ち、次世代へ継承していくためにも、引き続き資料の保存と整備をおこなう。

～平成 30 年度受け入れ資料の事例～



虎の絵のお守り

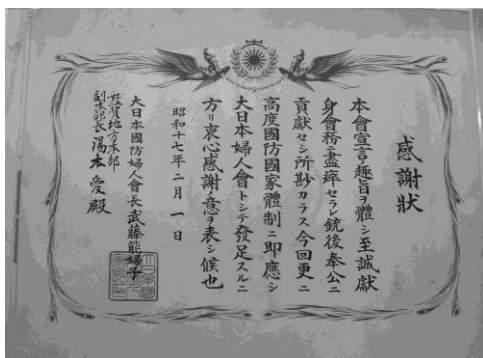
出征兵士のお守りとして、親戚の理髪店を営んでいるご主人がかいておくれたもの。対になっており、一枚は久野さんが戦地へ持っていき、もう一枚は無事の帰還を祈り実家の神棚に置かれた。 大津市 久野 治さん提供



呉の大空襲で被災した鉄瓶

広島に呉に住んでいた親戚の方が戦後に滋賀へ持ち帰ったもの。呉の大空襲で親戚宅が全焼し、唯一残ったのがこの鉄瓶だった。

野洲市 福永 裕保さん提供



感謝状（大日本国防婦人会、昭和 17 年 2 月 1 日付）

「これまでの会務に尽力し、銃後奉公に貢献したことに対する感謝状。「さらに高度国防国家体制に即応するために大日本婦人会として発足する」と記されている。昭和 17 年 2 月 2 日に愛国婦人会、大日本国防婦人会、大日本連合婦人会等を統合し大日本婦人会が発足。20 歳以上の未婚を除く女性たちは、戦争協力への動員をせざるを得なかった。

彦根市 湯本 宜子さん提供

3 普及啓発事業

(1) 平和学習講座

「人間爆弾『桜花』比叡山基地までの道」

○開催日時 平成30年（2018年）7月1日（日）13:30～15:00

○受講者数 74名

○事業概要

豊の国宇佐市塾の藤原耕氏を講師に迎えて、「人間爆弾『桜花』比叡山基地までの道」と題して講演いただいた。『桜花』は旧日本海軍が戦局打開の為に開発した特攻兵器で人間爆弾とも呼ばれた。1945年3月の九州沖航空戦から使用され、終戦間際には比叡山にも『桜花』の訓練基地が建設された。米国立公文書館等に所蔵された映像・公文書より米軍から見た『桜花』そして比叡山『桜花基地』の映像と共に上映・解説いただいた。



平和学習講座の様子



平和学習講座の様子

「日中戦争からアジア・太平洋戦争へ - 戦場の実態にもふれつつ - 」

○開催日時 平成30年(2018年)10月21日(日)13:30~15:00

○受講者数 65名

○事業概要

一橋大学大学院社会学研究科特任教授の吉田裕氏を講師に迎えて、日中戦争とアジア・太平洋戦争(いわゆる太平洋戦争)とは全く別の戦争ではなく、この2つの戦争が連続した密接不可分な戦争であったことをさまざまな面から明らかにし、あわせてアジア・太平洋戦争の苛酷で凄惨な戦場の実態にもふれて講義をしていただいた。



平和学習講座の様子

(2) 大人のための歴史教室(2回連続講座)

○開催日時

平成30年(2018年)9月22日(土)、11月24日(土)

各回ともに13:30~15:00

○講座内容および受講者

第1講「漫画の中の戦争」

受講者20名

第2講「小説の中の戦争」

受講者21名

○事業概要

佛教大学歴史学部の原田敬一教授を講師に迎えて、人々が目にすることの多い漫画や小説について、そこでは戦争がどう描かれているか、戦前から現代までのいくつかを素材に講義をしていただいた。



大人のための歴史教室の様子

(3) 戦争体験を聞く会

【平成 27 年度より毎月 1 回実施】(8 月は平和を祈念する日事業、3 月は 7 周年事業にて実施)

○開催日時

平成 30 年 (2018 年) 4 月 15 日、5 月 13 日、6 月 10 日、7 月 15 日、9 月 16 日、10 月 14 日、11 月 11 日、12 月 9 日、平成 31 年 (2019 年) 1 月 13 日、2 月 10 日、各回ともに 13 : 30 ~ 15 : 00

○開催場所 滋賀県平和祈念館 研修室

○語り部、内容および参加者数

4 月 15 日 (日)

吉村 登志子さん

(昭和 11 年生まれ、東近江市在住)

「福島への疎開と戦後の生活」

参加者 23 名

「戦争体験を聞く会」の様子



5 月 13 日 (日)

藤崎 高男さん

(大正 15 年生まれ、野洲市在住)

「語り継ぐシベリア抑留」

参加者 50 名



「戦争体験を聞く会」の様子

6月10日（日）

竹村 季乃さん

（昭和13年生まれ、湖南省在住）

「戦地からの手紙 ～家族を想う父と
ともに～」

参加者 50名



7月15日（日）

小西 久次郎さん

（昭和4年生まれ、彦根市在住）

「予科練での日々と戦後の生活」

参加者 37名



9月16日（日）

丸岡 重男さん

（大正13年生まれ、東近江市在住）

「福知山歩兵第20聯隊に入隊
中国での通信兵の体験」

参加者 31名



10月14日（日）

鶴房 正三さん

（昭和3年生まれ、東近江市在住）

「海軍技術廠での徴用体験や津の空襲
の様子」

参加者 29名



「戦争体験を聞く会」の様子

11月11日（日）

東郷 正文さん

（昭和13年生まれ、大津市在住）

「上田上での日本機墜落、焼夷弾投下の当時の様子」

参加者 27名



12月9日（日）

西村 光三さん

（大正14年生まれ、長浜市在住）

「大阪防空庁舎での日々と大阪空襲の当時の様子」

参加者 16名



1月13日（日）

坪田 末治郎さん

（昭和9年生まれ、東近江市在住）

「国民学校1年生から6年生
～わたしも戦争に加担～」

参加者 32名



2月10日（日）

永見 小太郎さん

（大正11年生まれ、近江八幡市在住）

「大阪での勤務から徴兵へ
～『ガス兵』としての毎日～」

参加者 102名



【平和を祈念する日事業関連】

○開催日時 平成30年（2018年）8月13日、8月14日、8月15日

○開催場所 滋賀県平和祈念館 研修室

○語り部、内容および参加者数

月日	語り部	内容	参加者
8月13日	稲垣 澄子さん（昭和3年 生まれ、米原市在住）	「戦争がなかったら… ～語り継ぐ ことの大切さ～」	41名
8月14日	山中 隆一さん（大正10年 生まれ、甲賀市在住）	「得撫島から北サハリン・オハ捕虜収 容所へ」	60名
8月15日	野村 和男さん（昭和4年 生まれ、東近江市在住）	「八日市航空分廠から戦地」	74名



戦争体験を聞く会（稲垣澄子さん）



戦争体験を聞く会（山中隆一さん）



戦争体験を聞く会（野村和男さん）

【開館 7 年記念事業関連】

- 開催日時 平成 31 年（2019 年）3 月 17 日（日）13：30～15：00
- 開催場所 滋賀県平和祈念館 研修室
- 語り部、内容および参加者数

月日	語り部	内容	参加者
3 月 17 日	北川 喜一郎さん（大正 12 年生まれ、愛荘町在住）	「フィリピン フガ島での通信部隊としての体験」	82 名



戦争体験を聞く会（北川喜一郎さん）

(4) 戦争遺跡見学フィールドワーク「八日市布引丘陵・掩体壕群学習講座&現地見学会

- 開催日時 学習講座：平成 30 年（2018 年）11 月 4 日（日）13：30～15：00
現地見学会：平成 30 年（2018 年）12 月 2 日（日）9：30～12：00
- 講演場所 学習講座：滋賀県平和館 2 階研修室
現地見学会：東近江市布引丘陵 掩体壕
- 参加者 学習講座：9 名
現地見学会：19 名
- 事業概要

東近江市教育委員会歴史文化振興課より嶋田直人氏を講師に迎えて、八日市布引丘陵の掩体壕群の学習講座と現地見学会を開催した。1 回目として、嶋田氏による学習講座を実施した。その 1 か月後、嶋田氏の案内・解説のもと、掩体壕群の見学を行った。途中、さまざまな形式の壕を解説していただき、参加者の質問にも回答をいただいた。



学習講座の様子



現地見学会の様子

(5) 平和を祈念する日事業「未来へ語り継ごう ～『私』から『あなた』へ～」

○開催期間 平成 30 年 (2018 年) 8 月 13 日 (月) ～15 日 (水)

○参加者 898 名 (開催期間中の来館者)

○事業概要

8 月 13 日～15 日の期間、平和を祈念する日事業「未来へ語り継ごう～『私』から『あなた』へ～」として、様々なプログラムを開催した。

3 日間を通して午前中に映画上映会、子ども映画上映会を、午後からは戦争体験を聞く会を行った。映画上映会では、「白い町ヒロシマ」(13 日)、「ドキュメンタリー 特攻なぜ拡大したのか (NHK スペシャル)」(14 日)、「ゆずり葉の頃」(15 日)を、子ども映画上映会では、アニメ映画「凧になったお母さん」(13 日)、「ぼくの防空壕」(14 日)、「焼跡の、お菓子の木」(15 日)を上映した。戦争体験を聞く会では、米原市在住の稲垣澄子さん、甲賀市在住の山中隆一さん、東近江市在住の野村和男さんの 3 名の方々にお越しいただき、当時体験された様々なことについてお話しいただいた。

その他、13 日は地元バンド「ワッショーレ」によるミニコンサート (午後)、14 日は当館ボランティアによる創作劇「異国の地にて」の発表 (午前)、そして地元の八日市児童合唱「スマッシュ」のミニコンサート (午後) を行った。

終戦の日の 15 日には、当館ボランティアによる戦時食体験 (100 食限定)、午後からは地域グループ「福ちゃん」による催し、さらに「わ音」のミニコンサートを実施した。また、正午に黙とうをささげるとともに、館長による平和メッセージを伝えるなど、平和を祈念するセレモニーを実施した。

期間中は子どもたちが平和への願いを込めて作ってくれたあんどんを 1 階ロビーに並べ、ライトアップした。

8月13日(月)～15日(水)平和を祈念する日事業のご案内 滋賀県平和祈念館

未来へ語り継ごう ～「私」から「あなた」へ～

日時
8月13日(月) 8月15日(水)

お問い合わせ先
滋賀県平和祈念館
東近江市下中野町431番地
TEL:0749-46-0300
FAX:0749-46-0350
Mail:heiwapref.shiga.lg.jp

開催場所
滋賀県平和祈念館

入場無料

3日間たくさんの催しをします

戦争体験を聞く会
家族と友達と親子一緒に

「戦争の記憶が遠ざかるとき、戦争がまた私たちに近づく」

石垣正さんの「勇音」の一期です。戦後70年の節目の年が過ぎ、以前より戦争や平和について語られることが少なくなってきました。しかし、世界に目を向けると平和は思っている現状が日々私たちのもとに入ってきます。だからこそ、70年の終戦の日を振り返り、より多くの方々に当館へ来ていただき、戦いのことを学んだり、平和への願いを、語り継ぐことの大切さを感じていただきたいと思います。

日程スケジュール

8/13 月

- 10:00-11:50 映画上映会 白い町にロシマ
- 11:00-11:50 子ども映画上映会 アニメ 隣に引っ越したお母さん
- 13:00-13:30 地域バンドによるミニコンサート 出演 / ワッシュール
- 14:00-15:30 戦争体験を聞く会 稲垣 澄子 さん (昭和3年生まれ) 「戦争がなかったら...語り継ぐことの大切さ」

8/14 火

- 10:00-10:50 映画上映会 特攻 せげほぐしたのか NHKスペシャル
- 10:00-10:50 子ども映画上映会 アニメ ぼくの防空壕
- 11:00-11:50 当館演劇ボランティアによる 創作劇
- 13:00-13:30 ミニコンサート 出演 / 八日市児童合唱団スマッシュ
- 14:00-15:30 戦争体験を聞く会 山中 隆一 さん (大正10年生まれ) 「得撫島から北サハリン・オハ捕虜収容所へ」

8/15 水

- 10:00-11:50 映画上映会 ゆずり葉の頃
- 10:30-11:45 子ども映画上映会 アニメ 焼餅の、お菓子の木
- 11:55-12:10 平和を祈念するセレモニー 藍荷・館長の平和メッセージ
- 12:15-13:00 当館ボランティアによる 戦時食提供
- 13:00-13:05 地域グループによる催し 出演 / 稲ちゃん
- 13:10-13:40 ミニコンサート 出演 / わ音
- 14:00-15:30 戦争体験を聞く会 北川 喜一郎 さん (大正12年生まれ) 「フィリピン フガ島での通信部隊としての体験」

100食限定

催し案内 戦争体験を聞く会

各日 14:00開始 2階研修室

13月 稲垣 澄子 さん (昭和3年生まれ 米原市 在住)
「戦争がなかったら...語り継ぐことの大切さ」 女学校での学級委員のお話、特攻づくりにかかわったことや戦時中の様子について、8月15日「あの日」でのごとく戦時中のご自身の体験と、戦後まわった物事について毎日のように生きていくことの様子、そしてさまざまな職業が業にみこみこについてお話いただけます。

14火 山中 隆一 さん (大正10年生まれ 甲賀市 在住)
「得撫島から北サハリン・オハ捕虜収容所へ」 昭和19年、22歳で召集され、戦況に入隊、その間、捕虜隊での生活や捕虜隊での生活、また捕虜隊生活についての突入訓練を受け、出陣前に戦艦を乗った時のことや、その後、捕虜として、北サハリン・オハ捕虜収容所へ移された時のことについてお話いただけます。

15水 北川 喜一郎 さん (大正12年生まれ 豊田町 在住)
「フィリピン フガ島での通信部隊としての体験」 昭和19年4月に戦前19期に入隊、その後、フィリピン・フガ島に上陸され、通信隊として戦地にくらべた日々の出来事を中心に、通信やフガ島の遺構、戦時生活などについてお話いただけます。

映画上映会 2階研修室

13月 10:00～11:50 白い町にロシマ 出演 山口 勇 藤原 啓治 宇野浩二 宇野重吉 日本軍の戦況を伝えるために作られた伝説的な映画。戦争体験者から聞き取り、戦時中の生活や戦況を伝える。戦時中の生活や戦況を伝える。戦時中の生活や戦況を伝える。

14火 10:00～10:50 特攻 せげほぐしたのか NHKスペシャル 太平洋戦争末期、日本軍の太平洋に上陸した米軍に、戦況を伝える。戦時中の生活や戦況を伝える。戦時中の生活や戦況を伝える。

15水 10:00～11:50 ゆずり葉の頃 戦時中の子供の生活を描いた伝説的な映画。戦争体験者から聞き取り、戦時中の生活や戦況を伝える。戦時中の生活や戦況を伝える。

子ども映画上映会 2階多目的室

13月 11:00～11:50 隣に引っ越したお母さん 昭和20年夏、お母さんが特攻隊員が戦死した後に嫁いで来たお母さん。お母さんのお話を聞き、戦時中の生活や戦況を伝える。戦時中の生活や戦況を伝える。

14火 10:00～10:50 ぼくの防空壕 戦時中の生活を描いた伝説的な映画。戦争体験者から聞き取り、戦時中の生活や戦況を伝える。戦時中の生活や戦況を伝える。

15水 10:30～11:45 焼餅の、お菓子の木 ある日、母の焼餅屋に、お母さんが戦死した後に嫁いで来たお母さん。お母さんのお話を聞き、戦時中の生活や戦況を伝える。戦時中の生活や戦況を伝える。

八日市児童合唱団「スマッシュ」ミニコンサート 2階研修室

14火 13:00～13:30 ミニコンサート 出演 / 稲ちゃん 児童合唱団によるミニコンサート。戦時中の生活や戦況を伝える。戦時中の生活や戦況を伝える。

当館ボランティア演劇グループによる創作劇 2階研修室

14火 11:00～11:50 「異国の地にて」 演劇グループによる創作劇。戦時中の生活や戦況を伝える。戦時中の生活や戦況を伝える。

わ音(わおん)ミニコンサート 2階研修室

15水 13:10～13:40 ミニコンサート 出演 / わ音 児童合唱団によるミニコンサート。戦時中の生活や戦況を伝える。戦時中の生活や戦況を伝える。

地元密着！催し 2階研修室

13月 13:00～13:30 八日市児童合唱団「スマッシュ」ミニコンサート 児童合唱団によるミニコンサート。戦時中の生活や戦況を伝える。戦時中の生活や戦況を伝える。

15水 13:00～13:05 グループ「稲ちゃん」 出演 / 稲ちゃん 児童合唱団によるミニコンサート。戦時中の生活や戦況を伝える。戦時中の生活や戦況を伝える。

来館者の声

10代 男の子
戦争というのは、たしかに人の命を奪った。でも、戦争がなかったら、きつかったかもしれない。

10代 女の子
わたしは、小さい頃に戦争体験者のお話を聞いたことがない。でも、戦争がなかったら、きつかったかもしれない。

40代 男性
戦争のことを考える良い機会を与えてくれた。ありがとう。

40代 女性
戦争体験者の方がお話を聞けて、戦争のことを考える良い機会を与えてくれた。ありがとう。

50代 女性
戦争体験者の方がお話を聞けて、戦争のことを考える良い機会を与えてくれた。ありがとう。

70代 女性
戦争体験者の方がお話を聞けて、戦争のことを考える良い機会を与えてくれた。ありがとう。

20代 女性
戦争体験者の方がお話を聞けて、戦争のことを考える良い機会を与えてくれた。ありがとう。

50代 男性
戦争体験者の方がお話を聞けて、戦争のことを考える良い機会を与えてくれた。ありがとう。

20代 男性
戦争体験者の方がお話を聞けて、戦争のことを考える良い機会を与えてくれた。ありがとう。

40代 男性
戦争体験者の方がお話を聞けて、戦争のことを考える良い機会を与えてくれた。ありがとう。

今年もぜひお越しください

イラストに色をぬって、ふきだしにへいわへのメッセージを書いてね

完成したら、13～15日のあいだに滋賀県平和祈念館へ持ってきてね！みんなの思いをパネルに貼ってね！

わたしのへいわメッセージ



館長による平和メッセージの様子



スマッシュ・ミニコンサートの様子



ボランティアによる戦時食の提供の様子



ボランティアによる演劇上演の様子

(6) 開館7周年記念事業

- 開催日時 平成31年(2019年)3月17日(日)10:30~16:30
- 参加者 169名(開催日の来館者数)
- 事業概要

開館7周年を記念して3月17日に「戦争体験を聞く会」や新作DVD「戦争証言2018」の上映会、当館職員による戦争体験聞き取り調査などの事業活動報告会、また子ども向け事業「へいわの学校あかり」受講生による活動報告会など様々なプログラムを開催した。さらに当館のボランティアグループが、戦時食の提供や創作劇の上演などを行い、日ごろの活動成果を発表いただいた。

開館 7周年記念事業 開催
滋賀県平和祈念館へ行こう

平成31年 日時 **3月17日(日) 9:30開館** 入館無料

11:30~12:00 15:50~16:30 『戦争証言 2018』上映会
今年度制作した新作を一挙上映します！

12:00~12:40 戦時食の提供
戦時食ボランティアイベントをすることに賛成のみなさん！
今年はいったい何が提供されるのかな？
限定100食

12:45~13:25 創作劇
劇ボランティア
夏イベントで公演した『異国の地にて』を再公演決定！
新たな視点で観てください！
(裏面に詳細あり)

13:30~15:00 戦争体験を聞く会
劇ボランティア
北川 喜一郎さん
(大正12年生まれ)
当時の戦地の様子などを語っていただきます！
(裏面に詳細あり)

15:00~15:50 平和の学校あかり活動報告&閉校式
今年度活動してきた内容について参加した子どもたちが発表します！

10:30~11:30 活動報告会
●語り部世代育成講座
●高野真氏の戦争体験
●戦争体験聞き取り調査
●学校への平和学習支援
館長・職員が報告します

会場へのアクセス
滋賀県平和祈念館(東近江市下中野町431番地)
●名神高速道路「八日市IC」から車で約10分
●JR琵琶湖線(東海道線)彦根駅または近江八幡駅乗り換え、近江鉄道八日市駅からバスで約20分(「東栗支所・診療所前」下車すぐ)

お問い合わせ
TEL 0749-46-0300 FAX 0749-46-0350
MAIL heiwa@pref.shiga.lg.jp

戦争体験を聞く会 当日の日程

きたがわ 北川 喜一郎 さん 大正12年生まれ 愛任町 在住
「フィリピン フガ島での通信部隊としての体験」

10:30~11:30 活動報告会
11:30~12:00 戦争証言 2018 上映会(前半)
12:00~12:40 戦時食の提供
12:45~13:25 創作劇「異国の地にて」
13:30~15:00 戦争体験を聞く会
15:00~15:50 平和の学校あかり活動報告
15:50~16:30 戦争証言 2018 上映会(後半)

13:30~ 開始
昭和19年4月に徴発第19部隊に入隊。その後、フィリピンフガ島に上陸され、道南島として戦地をくられた日々。出来事を中心に、糧食やウラの建造、健康状態によるあたり一面火の海と化した戦地、そして終戦を迎え、捕虜としての日々を送られたことなどについてお話いただきます。

当館ボランティアによる創作劇『異国の地にて』12:45~13:25

演劇グループは、現在11名のスタッフで活動しております。昨年度は、創作劇9回、紙芝居9回と、県下18か所の地域で出張公演させて頂きました。今年度は新たに2作目の創作劇に取り組み、練習を重ねてきました。来観人数も多々ございますが、スタッフ一同心を込めて、精一杯演じますので、ぜひご来館下さいませよう、ご案内申し上げます。

ボランティアによる活動報告展

現在、当館には50名あまりの方々がボランティアとして登録され、さまざまなグループに所属して活動していただくとともに、当館をさまざまな面でサポートいただいています。
各グループが今までどのような活動をしてきたか、また現在どのような活動をしているかをパネルや成果物で展示報告していただきます。

ボランティア活動・グループ
○来館者案内活動 ○語り部・語り継ぎ部活動
○戦時食グループ ○演劇グループ
○手紙等相談グループ ○聞き取りグループ
○情報紙制作活動 ○大風づくりグループ

来館者の声

子どもたちが自分の体験を書かれたのすばらかったです。今の子どもたちも体験をまじりながら戦争のことを学べます。またなにもなかったら子どもたちに伝えてほしいとおもいます。
40代 女性

展示を見るだけでなく、話を聞いたり、体験することによって、戦争のことをよりリアルに感じることができました。子どもたちには、戦争の残酷さを伝えるだけでなく、平和の大切さを伝えることも大切だと感じました。子どもたちにも伝えてほしいとおもいます。
60代 男性

手作り紙芝居など、子どもたちにもわかりやすい状態で、子どもも真剣に聞いていました。すばらかったのでも、いろんなところで一人でも多くの子どもたちに見せてあげてほしいです。
40代 女性

演劇に参観に行った人の話を聞くと、大変おもしろいお話も聞かれました。戦争の残酷さや戦争の悲惨さ、戦争の恐ろしさも感じました。平和の大切さを伝えることも大切だと感じました。子どもたちにも伝えてほしいとおもいます。
60代 女性

昔のことをたくさん知ることができました。もっとたくさん知りたかったです。
9歳 女の子

戦争から70年以上経ちますが、当時のことを知っていることが意外に少なくなっていることを感じます。こういった機会に、改めて戦争についていかに伝えていかなければいけないのかと改めて考えたいとおもいました。
60代 女性

イベントチラシ



館職員の事業活動報告会の様子



ボランティアによる戦時食の提供の様子



ボランティアによる紙芝居の様子



戦争体験を聞く会(北川喜一郎さん)の様子

(7) 館長講座「自分史づくり講座」

- 開催日時 毎偶数月の第2土曜日 14:00～15:30
- 参加者 延べ8名
- 事業概要

平成24年(2012年)7月から、自分史づくりをサポートする館長講座「自分史づくり講座」を開催している。今年度は、原則、偶数月の開催とした。本講座では、受講者自身が書き進めている自分史の原稿を持参し、館長が文章の表現方法など具体的な助言を行っている。

(8) 館長講座「語り部次世代育成講座」

- 開催日時 毎奇数月の第2土曜日 14:00～15:30
- 参加者 延べ18名
- 事業概要

戦争体験者の方々の高齢化がすすむなか、語り部の育成は開館当初から当館の重要な役割と位置づけられており、今年度から試行的に開始した。

(9) 映画上映会

【平成27年度より毎月1回実施】

- 開催日時

平成30年(2018年)4月29日、5月27日、6月24日、7月29日、8月26日、9月30日、10月28日、11月25日、12月23日、平成31年(2019年)1月27日、2月24日、3月24日(いずれも13:30～)

- 開催場所 滋賀県平和祈念館 研修室
- 上映作品および参加者数

月日	上映作品	参加者
4月29日	映画「つばさ」	36名
5月27日	ドキュメンタリー映画「疎開した40万冊の図書」	40名
6月24日	映画「NO」	40名
7月29日	映画「迎春花」	42名
8月26日	ドキュメンタリー映画「私はシベリヤの捕虜だった」	94名

9月30日	ドラマ「紅白が生まれた日」	10名
10月28日	映画「父と暮らせば」	46名
11月25日	映画「人間の翼」	34名
12月23日	映画「東京物語」	61名
1月27日	NHKスペシャル「カラーでみる太平洋戦争」	45名
2月24日	映画「独裁者」	78名
3月24日	アニメドキュメント「あの日、僕らは戦場で - 少年兵の告白 - 」	48名

(10) 平和の学校あかり

○開催日時

平成30年(2018年)5月26日、6月3日、7月22日、7月29日、8月4日、8月9日、8月13日、8月25日、10月8日、11月3日、11月17日、12月8日、平成31年(2019年)2月16日、3月17日の14日間

滋賀県平和祈念館

平成30年度 子ども向け体験型平和学習
平和の学校あかり

子どもたちがさまざまな体験活動を通して、戦争の悲惨さを知り、平和へのねがいを育む「平和の学校あかり」【前期】を開催します。

前期 参加者募集!!

「平和の学校あかり」【前期】スケジュール

タイトル	開校日	学習時間	定員
第1回 平和祈念館ってどんなところ？	5月26日(土)	14:00～16:00	20名
第2回 育てて食べよう戦時食①	6月3日(日)	9:30～12:00	20名
第3回 教えて戦争体験Ⅰ 【目玉焼きをくれた兵隊さん】	7月22日(日)	14:00～15:30	40名
第4回 「すいん」ってどんなもの？	7月29日(日)	14:00～16:00	20名
第5回 戦跡めぐり of 八日市飛行場	8月4日(土)	13:00～16:30	20名
第6回 教えて戦争体験Ⅱ 【長崎に落とされた原爆】	8月9日(木)	14:00～15:30	40名
第7回 わたしたち平和へのねがい調査隊	8月13日(月)	14:00～16:00	20名
第8回 戦跡めぐり in 大津	8月25日(土)	12:00～17:00	20名

※各回とも参加費は無料です。
(ただし、第4回と第5回、第8回は保険料20円が必要です。また、第8回は施設入館料等が必要です。)

○主な対象
小学校6年生～中学校3年生 ご家族での参加、歓迎します。

○申込方法
裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上、持参、または FAX でお申し込みください。(電話や電子メールでも受付付きます)
開校日の1週間前まで受付を終了します。ただし、定員に達した場合はその時点で受付を終了いたします。



滋賀県平和祈念館

平和の学校あかり【前期】申込用紙

滋賀県平和祈念館 へて (FAX:0749-46-0350)

項目	タイトル	主な内容	参加費	申込
第1回	平和祈念館ってどんなところ？	コーナーの裏面に取次ぎながら、展示を見学します。そして、パルケータのクイズも楽しみ、人気企画のクイズ大会も行われます。	無料	※1:30分前までの到着が、後者の「養分回着て食べよう戦時食①」
第2回	育てて食べよう戦時食①	戦時中にくらべられているお弁当の作り方を学びます。戦時中にくらべられているお弁当の作り方を学びます。※1	無料	※2:10分前までの到着が、後者の「養分回着て食べよう戦時食②」
第3回	教えて戦争体験Ⅰ【目玉焼きをくれた兵隊さん】	戦争末期、陸軍第四師団に所属していた、当時、長崎であった方に話を聞いたお話を、二品のお弁当を再現いたします。※2	無料	※3:10分前までの到着が、後者の「養分回着て食べよう戦時食③」
第4回	「すいん」ってどんなもの？	戦時中、このお話を「代食」として食べられていた人、実際に調理をして食べたことで、当時の食事情を学びます。※3	無料	※4:10分前までの到着が、後者の「養分回着て食べよう戦時食④」
第5回	戦跡めぐり of 八日市飛行場	八日市飛行場におかれる戦争遺構や歴史をバスで学びます。あが備後県立歴史館へ参ります。※4	無料	※5:10分前までの到着が、後者の「養分回着て食べよう戦時食⑤」
第6回	教えて戦争体験Ⅱ【長崎に落とされた原爆】	昭和20年8月9日、長崎に原子爆弾が投下されました。その原子爆弾で被害を受けたお話を、お話をさせていただきます。	無料	※6:10分前までの到着が、後者の「養分回着て食べよう戦時食⑥」
第7回	わたしたち平和へのねがい調査隊	実証調査や戦跡に関するアンケート調査をします。一般のみなさんの考えや思いを調査します。あなたの平和に対する思いを調査します。	無料	※7:10分前までの到着が、後者の「養分回着て食べよう戦時食⑦」
第8回	戦跡めぐり in 大津	「軍艦」と呼ばれた大津市、その大津市にも残るさまざまな戦争の跡をバスで学びます。	無料	※8:10分前までの到着が、後者の「養分回着て食べよう戦時食⑧」

※1回で、前期日程の2回分をさせていただきます。各回の集合場所は、滋賀県平和祈念館です。
講座の内容によっては、小学校低学年からの参加も可能です。お問い合わせは、申込用紙に、参加される目的・持参物等の詳細をお記入ください。
※2～8は、各回の申込用紙が別紙に添付されています。ご注意ください。

参加者名	学校	年
住所	滋賀県	
電話番号	携帯電話	
保護者名	一欄に参加された家族の名前	



○「平和の学校あかり」の開催・問い合わせ先
滋賀県平和祈念館 (東近江市下中野町4-31番地)
電話:0749-46-0300 FAX:0749-46-0350
メール:shawapref@sigajp
休校日:月・火曜日(祝日・お盆は除く) 年末年始
○アクセス
名神高速道路「八日市IC」から車で約10分
JR 琵琶湖線 彦根駅または近江八幡駅より徒歩、近江鉄道 八日市駅からバスで約20分(豊東支所・彦根駅前)下車すぐ

前期募集

滋賀県平和祈念館

平成30年度 子ども向け体験型平和学習
平和の学校あかり

子どもたちがさまざまな体験活動を通して、戦争の悲惨さを知り、平和への願いを育む「平和の学校あかり」【後期】を開催します。

後期 参加者募集!!

「平和の学校あかり」【後期】スケジュール

回	タイトル	開催日	学習時間	定員
第9回	育てて食べよう戦時食②	10月8日(月)	9:30~12:30	20名
第10回	教えて戦争体験Ⅲ 【兼田藤樹と大阪大空襲】	11月3日(土)	14:00~15:30	40名
第11回	戦時めくりin 大阪	11月17日(土)	9:30~17:00	40名
第12回	作ろう戦時のおもちゃ【お手玉】	12月8日(土)	14:00~16:00	20名
第13回	発信！わたしの平和への思い	2月16日(土)	14:00~16:30	10名
第14回	平和の学校あかり 体験報告会	3月17日(日)	15:00~16:00	10名

※各回とも参加費は無料です。
(ただし、第9回と第11回は保険料20円が必要です。また、第11回は施設入館料等が必要です。)

○主な対象
小学校6年生~中学校3年生 ご家族での参加、歓迎します。

○申込方法
裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上、持参、または FAX でお申し込みください。(電話や電子メールでも受け付けます)
開校日の1週間前まで受付を終了します。ただし、定員に達した場合はその時点で受付を終了いたします。



平和の学校あかり【後期】申込用紙

滋賀県平和祈念館 まで (FAX:0749-46-0350)

回	タイトル	主な内容	参加費	備
第9回	育てて食べよう戦時食②	前期講座の第2回講座で焼きたたきつきいもを収穫します。それを使って戦時食の作りかたも体験していただきます。※1	無料	※1: 前期講座第2回講座で焼きたたきつきいもを収穫して作った戦時食②の参加費を兼ねて受付いたします。ご了承ください。
第10回	教えて戦争体験Ⅲ【兼田藤樹と大阪大空襲】	兼田に直撃へ体験し、その後に大阪に降り、大阪大空襲にあわれた方に会っていただきます。当時のことを聞いていただきます。※2	無料	※2: 「大阪大空襲」の参加費を兼ねて受付いたします。ご了承ください。
第11回	戦時めくりin 大阪	大阪城周辺に隠れた戦時少佐の跡を見学します。その後、ピースおおさか公民館平和祈念館へついで見学します。※3	無料	※3: 「大阪大空襲」の参加費を兼ねて受付いたします。ご了承ください。
第12回	作ろう戦時のおもちゃ【お手玉】	戦時はおもちゃも手作りでした。今回は、戦時のお手玉を作って当時の子どもたちが何気なくの遊具を考案します。※4	無料	※4: 「大阪大空襲」の参加費を兼ねて受付いたします。ご了承ください。
第13回	発信！わたしの平和への思い	本日の報告会に向けて、様々な形で平和への思いをいただきます。あなたが平和の学校あかりで学んだことは何ですか。※4	無料	※4: 5. 200講座の参加費を兼ねて受付いたします。ご了承ください。
第14回	平和の学校あかり 体験報告会	当館青年事業にて平和の学校あかりで体験、学習したことを発表します。また、閉校式を行います。※5	無料	※5: 200講座の参加費を兼ねて受付いたします。ご了承ください。

※講座の内容によっては、小学校低学年からの参加も可能です。お問い合わせは、参加される講座の担当までお問い合わせください。
※各回の集合場所は、滋賀県平和祈念館です。

参加者名 (A4用紙)	学校	年
住所	滋賀県	
電話番号	携帯電話	
保護者名 (A4用紙)	一緒に参加されるご家族の名前	



○「平和の学校あかり」の開催会場
滋賀県平和祈念館 (東近江市下中野町4-31番地)
電話:0749-46-0350 FAX:0749-46-0350
メール:helwa@pref.shiga.lg.jp
休館日:月・火曜日(夜日はお休み) 年末年始
アクセス
名神高速道路(八日市IC)から車で約10分
JR 琵琶湖線彦根駅または近江八幡駅東口へ、近江鉄道八日田駅から徒歩約20分(粟津支所・彦根駅前下車徒歩)

後期募集案内

- 会員数 52名 のべ参加者 227名
- 事業内容

① 「平和祈念館ってどんなところ？」(5月26日)

全14回の講座の開校講座を行った。本事業の説明の後、ミニ平和学習や館内見学、バックヤードツアーを実施した。続いて、ワークシートに取り組みながら館内の展示を回る活動を行い、最後にオリジナル缶バッジづくりも実施した。



バックヤードツアーの様子



ワークシートにチャレンジの様子

② 「育てて食べよう戦時食①」(6月3日)

あいとうマーガレットステーション隣接農園でサツマイモの苗植えを行った後、戦時中に食べられた野草を祈念館周辺で探すネイチャービンゴを行った。最後に、当館ボランティアの戦時食グループの方が作った戦時のおやつを試食

した。



サツマイモの苗植えの様子



戦時のおやつを試食の様子

- ③ 「教えて戦争体験 I 【目玉焼きをくれた兵隊さん】」(7月22日)
戦争末期、御園国民学校に空襲があり、当時、児童であった方を講師に招き、ご自身の体験をお話ししていただいた。最後に、質疑応答も行った。
- ④ 「『すいとん』ってどんなもの？」(7月29日)
戦時食の代表である「すいとん」を調理して試食した。当館ボランティアの戦時食グループの皆さんの協力で愛東コミュニティーセンター調理室を借用して実施した。戦時の食についての話も聞いた。



すいとん作りの説明の様子



すいとん調理体験の様子

- ⑤ 「戦跡めぐり of 八日市飛行場」(8月4日)
平和祈念館にて八日市飛行場のことについて簡単な学習を行った後、現地見学を行った。飛行場前駅跡や冲原神社(八日市飛行場正門門柱)、掩体壕などを見学した。



飛行場前駅跡の見学の様子



掩体壕の見学の様子

⑥ 「教えて戦争体験Ⅱ【長崎に落とされた原爆】」(8月9日)

実際に被爆された方を講師に招き、ご自身の体験をお話ししていただいた。
最後には、質疑応答の時間も用意した。



講座の様子

⑦ 「わたしたち平和へのねがい調査隊」(8月13日)

あいとうマーガレットステーションの利用者と来館者(戦争体験聞く会参加者)にアンケート調査を行った。46名に質問し、回答を得ることができた。



あいとうマーガレットステーションでのインタビュー体験の様子

⑧ 「戦跡めぐり in 大津」(8月25日)

大津に残る戦争の跡をバスで巡った。大津市歴史博物館では、学芸員の方に青い目の人形についてお話をしていただいた。兵営前駅跡や陸軍墓地、園城寺法明院などを見学した。



大津市歴史博物館の見学の様子



園城寺法明院の見学の様子

⑨ 「育てて食べよう戦時食②」(10月8日)

あいとうマーガレットステーション隣接農園でサツマイモの収穫をした後、そのサツマイモで戦時食を作る調理、試食体験を実施した。



サツマイモの収穫の様子



戦時食調理体験の様子

⑩ 「教えて戦争体験Ⅲ【集団疎開と大阪大空襲】」(11月3日)

滋賀へ疎開し、その後大阪に戻り、大阪大空襲にあわれた方を講師に招き、ご自身の体験をお話ししていただいた。最後には、質疑応答を行った。



講座の様子

⑪ 「戦跡めぐり in 大阪」(11月17日)

大阪城周辺に残る戦跡や空襲の跡を見学した。その後、ピースおおさか(大阪平和国際センター)を見学した。



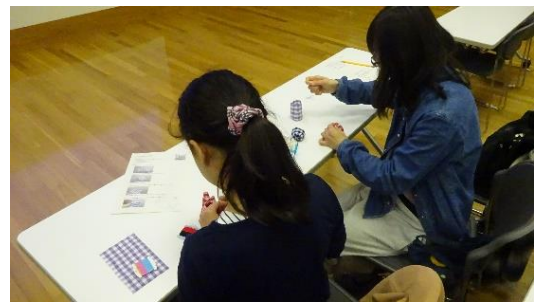
大阪城石垣の見学の様子



ピースおおさかの見学の様子

⑫ 「作ろう戦時のおもちゃ【お手玉】(12月8日)

戦時子どもたちが遊んだ「お手玉」を製作し、当時の子どもたちや家の人の気持ちを考えた。




お手玉作りの様子

⑬ 「発信！わたしの平和への思い」(2月16日)


平和の学校あかりに参加して、戦争について知ったことやそれぞれが抱いた平和への思いをプレゼンテーションソフトや新聞などにまとめた。

育てて食べよう戦時食 1・2

ボランティアの方々と共に芋を植えま
した。



天気も良くたくさん芋が取れまし
た



まとめ

- ・私の知らない戦争の痕がまだ残っていると思うので、これからも学ぶ気持ちを無くさないようにしたい。
- ・戦争の怖さを改めて感じた。
- ・戦争の記憶が無くならないように私たちが次世代につなげていきたい。
- ・まだまだ戦争について学び、平和について考えていきたい。

子どもたちの作品

⑭ 「平和の学校あかり体験報告会」(3月17日)

周年事業の中で平和の学校あかりの活動発表の時間を設け、前回の「発信！わたしの平和への思い」でまとめたものを発表した。その後、平和の学校あかりの閉校式を行い、講座を5回以上の参加した受講者に当館館長より修了証書、

及び記念品を授与した。



報告会の様子



閉校式の様子

(11) 平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール

○展示期間 平成 30 年（2018 年）11 月 3 日～平成 31 年（2019 年）1 月 31 日

○表彰式 平成 30 年（2018 年）11 月 3 日

○事業概要

次世代を担う子ども達が、戦争と平和をテーマにした絵を描くことにより、戦争の悲惨さや平和の尊さを考えるきっかけとするとともに、子ども達が描く絵画を通して、広く県民に平和への想いを伝えることを目的として実施した。今回、県内の小学校 5 年生から中学生を対象に作品を募集したところ、県内小・中学校 23 校から 434 作品の応募があった。

○入賞者

各 賞	学 校 名	学 年	氏 名
ピース賞（小学校）	野洲市祇王小学校	第 6 学年	もとおか みつき 元岡 実希
ピース賞（中学校）	湖南市立甲西北中学校	第 2 学年	えぐち 江口 なずな
ハート賞（小学校）	東近江市立八日市南小学校	第 6 学年	うえむら さえ 植村 咲笑
ハート賞（中学校）	東近江市立五個荘中学校	第 1 学年	おおすみ こうたろう 大角 恒太郎
オリーブ賞（小学校）	守山市立物部小学校	第 5 学年	ふじい けやき 藤井 楓
オリーブ賞（中学校）	守山市立明富中学校	第 3 学年	みずたに ゆづき 水谷 柚月

※各賞について

ピース賞・・・滋賀県平和祈念館の理念と合致していることや祈念館の事業を推進するうえで効果的な作品

ハート賞・・・制作者の平和への思いを画面に意欲的に工夫し、効果的に表現している作品

オリーブ賞・・・平和への思いを自分らしい発想や構想で表現し、線画や色使いの技能が優れている作品

各賞	作 品	制作者の思い
ピース賞 (小学校)		<p>「平和への願い」のタイトルをつけ、平和がずっと続きますようにと願いを込めて制作しました。</p>
ピース賞 (中学校)		<p>平和を悲しんでいる人たちに笑顔になってもらうことで、リレーのバトンのように繋げていって広げていこうというメッセージがある。</p>
ハート賞 (小学校)		<p>世界みんなが手をつなげば、平和になると書いて書きました。</p>
ハート賞 (中学校)		<p>はとが war ではなく、peace の文字を完成させるために、a を運びます。</p>
オリーブ賞 (小学校)		<p>赤いひまわりは戦争で流れた血。人間やこん虫、動物など自然に生かされているものみんななかよく生きていく世界をつくる。その一歩の瞬間。</p>

オリーブ賞（中学校）



噴水の時計の時間は、終戦を告げた時刻です。その瞬間天使の羽が舞い降り、みんなが幸福を感じました。

4 平和学習支援事業

(1) 来館学習の支援

○来館学校数 実績

	総数	小学校	中学校	高等学校
学校数	47校	41校	4校	2校
児童・生徒数	2,340人	1,985人	271人	84人

○主な方法

- ・ 展示見学
(学校が作成するワークシートや当館職員が作成したクイズラリーを用いての調べ学習)
- ・ 館の職員によるミニ講座
- ・ 戦争体験者によるお話会
- ・ 戦時食体験



来館学習での展示見学の様子



研修室での平和学習

(2) 出前授業

○出前授業実施校 実績

	総数	小学校	中学校	高等学校	大学
学校数	103 校	81 校	13 校	7 校	2 校
児童・生徒数	9,657 人	7,116 人	1,117 人	1,244 人	180 人

○主な方法

- ・ 実物や写真・動画の提示
- ・ 体験談の提示
- ・ 資料観察



出前授業での様子（東近江市立船岡中学校）

(3) 地域への平和学習支援

戦後 74 年となり、「戦後 70 年」とメディアなどで取り上げられていた 4 年前と比べると、若干意識が低くなっているように感じるが、戦争を体験していない世代が増え、「子どもたち」とともに「大人」への語り継ぎが重要になることを踏まえて、公民館や地域の自治会、企業など各種団体などからの要望に応じた平和学習支援として、地域への出前講演を実施した。

平成 30 年度においては、47 団体、1,995 人の利用があった。

○主な内容

- ・ 「滋賀への空襲」
- ・ 「滋賀にまつわる戦争の記録」
- ・ 「戦争と滋賀」



出前講演の様子（米原警察署）

(4) 資料の貸出による平和学習支援

滋賀県平和祈念館では、学校や地域への平和学習を支援するために、実際に手にとって触れることのできるハンズオン資料やパネル、アニメ画入りの戦時体験映像の貸出を行っている。

平成 30 年度は、新たに「戦争体験者証言映像(2018)」を制作し、平成 31 年度から貸出を始める。

学校への貸出の傾向としては、視聴覚資料の貸出が多い。地域への貸出としては、今年度に貸出を始めた「戦争体験者証言映像(2017)」の貸出数が多かった。また、平成 30 年度も、夏期にパネルの貸出が集中する傾向にあった。

○資料貸出しの実績

①学校への貸出 21 校

区分	総数	小学校	中学校	高等学校
学校数	21 校	18 校	3 校	0 校

②地域への貸出 59 件

○貸出資料の種類

- ① ハンズオン資料…千人針、臨時召集令状（複製）、出征たすき、防空頭巾、配給切符、慰問袋、鉄かぶと、ゲートル、国防婦人会たすき、いなご採り袋、雑誌「週刊少国民」（ラミネート版）、カルタ「戦ふ日本カルタ」（ラミネート版）、双六「大東亜共栄圏めぐり」（ラミネート版）、出征のぼり
- ② パネル…Aセット（16 枚組）
Bセット（20 枚組）
Cセット（16 枚組）＜滋賀で学ぶ戦争の記録＞
写真・ポスター類（64 枚）

③ 小学校国語科読み物教材「一つの花」対応セット

④ 視聴覚資料

- ・ 滋賀県民の戦争体験証言ビデオ「記憶の湖（うみ）17本」
- ・ 小中学校向けアニメ画入りの戦争体験証言映像
「大阪から来た女の子」、「滋賀県満州報国農場の若者たち」
- ・ 2014、2015、2016、2017、2018年度制作の戦争体験者証言映像（DVD版・BD版）
- ・ その他、戦争や平和に関するビデオ・DVD



出征のぼり

(5) 戦争体験者証言映像の制作

戦争体験者の体験談を記録・保存するとともに、広く県民に戦争の悲惨さや平和の大切さを学ぶための映像教材として、戦争体験者証言映像の制作を当館で企画し、委託事業によって制作した。平成 26 年度から事業を開始して、これまでに 4 作品を制作した。引き続き、今年度は 6 名の体験者にご協力をいただいて、「戦争証言 2018」を制作した。本作品は以下の 3 本の映像にまとめている。

また、本作品は平成 31 年 3 月 17 日の開館 7 周年記念事業において、お披露目上映会を開催し、好評を得た。

『戦争体験者証言映像 戦争証言 2018』DVD・Blue-ray

「狙われた軍需工場」(20 分)

証言：早瀬 充人さん・島野 喜道さん

「少年通信兵の戦争」(20 分)

証言：村田 辰夫さん

「少女たちの目にうつる戦争」(22 分)

証言：奥村早智子さん・本郷豊子さん・厩丘美代さん

戦争体験者映像『戦争証言 2018』チラシ

5 ボランティア活動支援事業

当館では、開館に先立って平成 23 年度より当館の活動に参加いただけるボランティアの募集を開始した。平成 30 年度においては、新たにボランティア登録の申込があった方を対象とした「ボランティア登録講座」を 2 回開催（5、11 月）し、8 名の方が新たにボランティア登録をされた。平成 30 年度末現在におけるボランティア登録者数は 49 名で、年齢層は 10 代から 80 代の幅広い世代の方に登録いただいている。

具体的な活動内容としては、来館者案内活動、戦時食体験活動、手紙等解読活動、紙芝居や寸劇を上演する演劇活動、情報紙「平和の灯」を制作する活動など、各グループの活動が積極的に進められている。また、開館周年記念事業などの館事業への協力なども継続して行われている。

ボランティアの様々な経験に基づいた知識や技術、さらにはその主体的な活動を通して、当館の活動の幅は確実に広がり、多様なものとなっている。今後ともボランティア活動を通して、利用者と積極的に交流していただき、さらには『利用者と館をつなぐかけ橋』の役割を担っていただくことを期待する。また、平和祈念館ではそのためのサポートを続けていく。

○ボランティア活動の紹介

来館者案内活動グループ	館内での来館者との交流や案内をします。
戦時食グループ	食べるものがなかった戦争末期から戦後の生活苦を感じ、「食」の大切さについて考えます。
演劇グループ	平和や戦争をテーマにした紙芝居・人形劇・寸劇を創作し、上演する活動をします。
手紙等解読グループ	戦争中の手紙や日記などを、読みやすいように解読する作業をします。
聞き取りグループ	戦争体験者の方からお話を聞き、記録する活動をします。
情報紙制作活動グループ	情報紙「平和の灯」を制作します。
大凧づくりグループ	東近江大凧まつりに向けて、ミニ大凧（2 畳）をつくり、平和への願いや当館の活動を PR します。



ボランティア登録講座



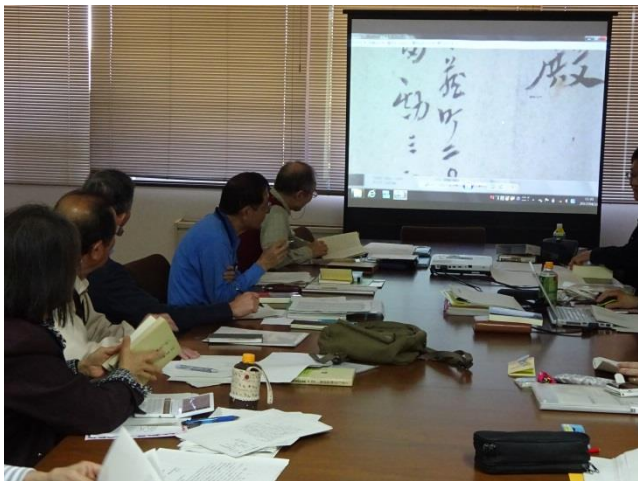
来館者への案内活動



平和の学校あかりでの戦時食紹介活動



周年事業での創作劇の上演



手紙等解読活動



聞き取り活動



情報誌「平和の灯」